

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 28 年 4 月 26 日〔火〕 18:30～
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 7 名

出席委員の氏名

玉野 梨沙／徳山 貴広／星村 文乃／迫田 真吾／藤井 琢磨

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／渡 陽子／作井 美由紀

4 議題

審議(「夕方フレンド」について)

5 議事の概要

- (1)スタッフ紹介
- (2)審議(「夕方フレンド」について)
- (3)次回の審議議題について

6 審議内容

- (1) 議長の選出
- (2) 番組内容の審議(「夕方フレンド」)

(放送番組審議会の説明、新委員の紹介。委員長を選出では、全会一致により藤井委員長に決定)

藤井委員長

基本的に、ゆぶいニングアワーは帰宅する車の中で聴きます。毎回、「聴く」というよりは、聞き流しながら、こんな人があるのかと思うことが多い番組です。

最初に聞きたいのが、ラジオ局側としては、(夕方フレンドの)コンセプト目的はどういうものなんですか？

一放送局 丸田

この番組(夕方フレンド)は、開局当初からスタートしている番組で、シマでいろいろ活躍されている方々、ひとつの分野だけではなく、集落活動であったり、個人的な活動であったり、もうちょっと大きく公共的な活動であったり、集落にいらっしゃる方、昔からのものを語り継いでいる人だとか、いろんなジャンルの方に、どんなジャンルの方にでも出ていただきたいと思っています。研究をしている方に特化した番組ではなく、いろんな方々にヒストリーがあると思いますので、そういったことを聞きながらお話をすすめる、研究、活動をされている方々の広くみなさんにお知らせできるような窓口のコーナーになればいいなと思っています。時には観光客が出ることもあります。

藤井委員長

実際、自分も楽しみとして聴いています。新たに来た方とか、タイムリーに紹介していて、まさにコンセ

プト通りだと思いました。

ゲストだけでなく、パーソナリティの3人の感想やエピソードも楽しみに聴いています。本当に聞き逃してしまう回（の特徴）は、パーソナリティと相手とのおしゃべりになっていなかったり、話が切れ切れになってしまうと薄くなって聴きづらいと思います。

出演者側も「これを言いたい」ということがあると思うので、それを事前にはっきりさせておくといいと思いました。

玉野委員

何度か、青年会議所でも出演させてもらったことがあるんですが、近々行われる企画とかイベントのお話が会話形式で聴けて、いい宣伝PRできる番組だなと思いました。

ゲストには、しゃべりなれているゲストが多いなと思いました。複数のときには、丸田さんが上手に割り振りしてお話していたので、会話形式で聴きやすいなと思いました。

気になったところは、ネットなどでも配信されていて他の島々にもリスナーがいるので、「離島」という言葉は、他の言葉「島々」などの表現にした方がいいなと感じました。

あと、なんで音楽がなくなったのかな、と思いました。（過去には、ゲストからリクエスト曲をいただいていた）その人の思い出を聞くのには、いい企画だと思っていたので。

藤井委員長

音楽がなくなった理由は何かあるんですか？

-放送局 丸田

当初、夕方フレンドでは、ゲストがセレクトされた曲をエンディングで伝えていましたが、曲がそろわなかったり、準備ができなかったり、毎回お願いはしていたんですが、なかなか難しかったことと、お話をメインにして曲は削って今の形になりました。

藤井委員長

著作権の問題は、ないんですか？

-放送局 丸田

著作権に関しては、大丈夫です。

-放送局 渡

リクエスト曲のコーナーを設けていた時には、ゲストの選曲の「意外性」とか、「納得」な部分もあったりして、いいコンテンツではあると思っていました。

-放送局 麓

夕方フレンドの当初は、島で埋もれている人を主人公に話を聴くというコンセプトと、ゲストの好きな曲を流すことと、他にも「島の好きなところと嫌いなところ」を伝えてもらうこともしてもらってました。島のデメリットを聴くのは、リスナーには「ドキッと」することもあったかと思います。「（島の嫌いなどころ）その質問はちょっと（辞めた方がいい）」というご意見もありましたが、最近では、「もっと突っ込んで

話を聴いた方がいいのでは」というご意見もあります。

-放送局 渡

「(島で) こうなったらいいのにな」という表現だったら、いいのかもしれませんがね。このご意見を参考に、今後わたしたちも検討して行こうと思います。

藤井委員長

今のお話を聴いて、「定型アンケート」というか、そういったのがあってもいいのかなと思いました。アンケートの項目を使う使わないは自由にして、ゲストの方の好きな曲を紹介する回があってもいいのかなと思いました。

星村委員

私は営業の仕事をしているので、夕方フレンドは「プレゼンテーション」「営業」だなと思いました。商品や会社を売り込む前にどのようにアプローチするのか、初めての方とお話するのはドキドキだろうなと思って、生放送ですごいなと思って聴いてました。

質問なんですが、対象者（ゲスト）へのアプローチ、接点というか、どれだけ事前に打ち合わせをしているのか気になりました。

-放送局 丸田

ご出演するみなさんには、どなたか紹介してもらっています。ご出演は、基本的にお電話で依頼をしているんですが、その段階ですこし話の流れを説明しています。ご出演当日、スタジオに入る前に軽く打ち合わせはしています。

星村委員

作井さんは、知りたい姿勢が伝わってきました。丸田さんは、ゲストの工業卒業という話から「自分も工業生ですよ」とか「グラウンド整備したんですか」という話を拾っていたので、なかなかできないと思うので、どうやって営業能力というかプレゼン能力を磨くのかなと思いました。渡さんは、何年前に島にいましたという話から、「自分はその時年はいくつ」という話をしていたので、ゲストも安心するだろうなと思いました。

事前にどれだけ情報収集をしているんだろうなと気になりました。

-放送局 麓

アドリブ性が高いと思います。事前に情報収集だったり、勉強するともっといいものになるのかもしれませんが。

星村委員

普段から島に興味を持っていないと出てこないことだったり、年のことだったり、勉強しているというか身に付いているんだなと思いました。

迫田委員

じっくり聴くというよりも、仕事しながらとか車で運転しながら聴きました。丸田さんは、慣れていらっしゃる、安定しているなと思いました。イントネーションも島っぽくないので、誰が聴いても聴きやすいなと思います。渡さんは、自分が初めて出演したときに、渡さんがパーソナリティだったんですけど、その時と比べてつまなくなってるなと思いました。それが楽しみになっていたりもします。作井さんは、熱心に聴いているので初々しさがある。新しいから引き寄せられるのもあると思います。

車で聴いてて、例えば知らない人だけだれかい？と思った時に、知らない人の情報がホームページにプロフィールがあると、いいなと思いました。

徳山委員

夕方フレンドは、奄美に住んでいてもわからないことはたくさんあるので、ありがたい番組だなと思いました。何回か聴いていると、知り合いが出たりして興味もって聴きますよね。夕方フレンドのCDの販売もしているんですよね？その案内もしてはいかがでしょうか？

迫田委員

それは誰でも買えるんですか？

-放送局 麓

誰でも買えます。

-放送局 渡

島の宝奄美っ子というコーナーでは、事前に子どもたちの声がいつ流れるのかご案内をしています。そのご案内の横には、CDも作れることを記載しています。番組によって対応が違うので、いい具合にできるようにしたいです。

藤井委員長

番組をポットキャストとか、2週間限定で番組聴けますよ、というのは難しいんですか？

-放送局 丸田

そうですね、以前そういったことも検討はしたんですが。

今は、インターネット放送を配信しています。「これが聴きたい」といったセレクトができないので、今後どういった形でできるのか、踏襲も必要だと思いますので、将来的には考えて行きたいと思っています。

藤井委員長

島の人の紹介だったり、島の知識みたいな番組が多いので、聴きたい番組はけっこうあります。

大島支庁長の時に、お手紙・メールをいただいたと言っていましたけど、あまみエフエムはお便りコーナーが意外とないですよ。ツイッターくらいの短い文字でご紹介します、ということがあれば、地域のラジオ感が出て、固定リスナーも増えるんじゃないでしょうか。

今回の中でも、「お手紙あります」というのが、その人の背景があって、おもしろいなと思いました。

-放送局 丸田

放送中には、端末を広げているので、届いたメールはリアルタイムで紹介するようにしています。

-放送局 渡

年配の方からのお葉書は、熱くぎっしりと書いてあることがあります。メールでメッセージをくださる方もいて、あと、出身者の方で面白いのが、ファックスで手書きで送ってくださる方もいます。

玉野委員

この中で、面白かった人を他の番組で改めて紹介するとか、割と固いと思うので、お酒を飲むような、くだけた話を聴けたらいいなと思いました。

「はまだまーぼのあっただんまどうし」にスライドして出演していただくとか。

-放送局 渡

中には、夕方フレンドに出演して、「あっただんまどうし」に出てくださった方がいたんですけど、そんな方だったんだ！というギャップもおもしろくて、「こんな趣味があったんだ！」という話もありました。そういったところで、掘り下げることもしたいですし、(夕方フレンドでは)初見ということでもうまく掘り下げることができていなかったかもしれません。2回、3回と夕方フレンドに呼ぶのもいいかもしれません。

藤井委員長

さきほど麓さんもおっしゃっていましたが、アドリブ性が高いので、ラジオパーソナリティの技次第、引き出しスキルも大事になってくると思うんですが、事前にゲストとの接点を増やしておくとか。30分くらいだと、うまいことしゃべろうと思うたびに失敗してしまうので、もう一度チャンスがあれば、なにか手段があればいいなと思います。

迫田委員長

パーソナリティに聴きたいのは、人によって、短くまとめる人と、長く話す人がいると思うんですけど、聞き方とか変えたりするんですか？なにかテクニックとか工夫があるんですか？

-放送局 渡

単語だけで答えてくださる方もいます。話を振ったらずっとしゃべってくださる方もいらっしゃいますし。どのように引き出すかは、私たちの課題でもあります。

徳山委員

パーソナリティに、得意な分野ってあるんですか？このゲストにはこのパーソナリティで！ということがあるんですか？

-放送局 麓

基本的には、ランダムに対応するんですが、時々担当を決めることもあります。宗教・政治に関しては、公平性を保つことに重点はおきますが、できるだけ間口をひろく、いろんな方にご出演いただいています。

藤井委員長

ここで、今日出席できなかつた楠田委員からご意見いただいていますので代読します。「初回出席できずに申し訳ありません。作井さんの回は、番組前半のテンポアップがあればゲストさんの伝えたいことがより伝わるのではないかと思います。30分って、あっという間ですね。個人的には作井さん応援しています。」出演者さんの話の掘り下げ方とか、パーソナリティのスキル次第かとは思いますが。

迫田委員

最初に出た、「奄美のいやなところ」とか、僕も聞きたいなと思うんです。ロックな感じで「朝方フレンド」ではないですけど、ガチでけんかして出て行くとかあると面白いかなと思います。たまに。

-放送局 麓

9年前（ラジオ開局当時）は、島の放送具合がどういった感じかわからなかつたんですけど、今は、島の人たちの問題意識も高まって来ているので、ディスカッション系のものが求められているかもしれません。テーマをひとつ設けて、いろんな立場の方をお呼びしてご意見いただきながら、たまにぶつかって行って、島のモノゴトを考えるきっかけになる番組もやりたいと思います。

玉野委員

酒のせいにできればいいですよ、「飲んでたからね」ということに。

-放送局 丸田

話すスピードなどは、大丈夫でしたか？

全員

テンポはちょうどいいと思います。特にスピートは気にならなかつたです。

迫田委員

パーソナリティでやっちゃいけないこと、言っちゃいけないことってあるんですか？社内でもいいんですけど。

-放送局 麓

基本的には、自由にラジオパーソナリティとしての個性をある程度放った方が好感に転ずるかなということもあります。年配の方に対しては、シマグチを使うのがいいこともあるので、勉強していかないといけないんですが、目上の方に対しての言葉がフランクになりすぎて失礼になることがあるので、「やっていいこと」のメリハリをつけないといけないと思っています。

玉野委員

お話をするとき、障害を持っている方に対しての対応はどうしているんですか？

-放送局 渡

「この子は名前しか言えないよ」という子でも、声が流れることによって親御さんが喜ぶと思うので、できるだけ声を届けられるようにしています。時々、教室などでダウン症の子がいたりするんですけど、「何

を習ってきたの？」ということを書いて、ありのままを書いてシマッチュも受け止めてくれると思うので、そのまま出してもらうようにしています。ありのままを伝えられるように生放送でもやっているところです。

-放送局 麓

9年間やってきて、自分たちの（放送の）崩し加減もですが、リスナーさんの理解力を探りながらやっている部分もあります。クレームもあるんですが、理解力も高まって来ているので、その関係性が島らしくていいなというのがあります。愛のあるクレームをたびたびいただいています。

藤井委員長

「夕方フレンド」に関して、思う存分お話いただいたので、審議を終わりたいと思います。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成 28 年 5 月 14 日(土曜日)6:00～放送

② 書面の備置き:平成 28 年 5 月 14 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を問う法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成 28 年 5 月 14 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし